

特別支援教育部会

1 研究主題

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む体育科・保健体育科学習の在り方
～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の創造と展開～

2 日 程

	9:00	9:50	10:45	11:45		13:30	14:30	15:00		16:30
	8:40	9:40	10:35	11:35	12:35		14:20	14:45		16:00
受付	開 会 行 事 (40分)	視 点 説 明	公 開 授 業 小 学 校 (45分)	公 開 授 業 特 別 支 援 (50分)	公 開 授 業 中 学 校 (50分)	昼 休 食 憩 (55分)	公 開 授 業 高 等 学 校 (50分)	指 導 助 言 が 言 り (全 体) (15分)	授 業 研 究 (4部 会) (60分)	閉 会 行 事

特別支援

① 公開授業

種 別	学 年	単 元	発 表 者
特別支援教育	高等部 第1・2・3学年	球 技 (ゴール型：サッカー)	県立日向ひまわり支援学校 教 諭 安 藝 航 平

② ワークショップ型授業研究

部 会	役 職	氏 名
特別支援教育	指導助言者	日本体育大学体育学部 准教授 村 井 敬太郎
	司 会 者	県立日南くろしお支援学校 教 諭 押 方 弘 樹
	記 録 者	県立日南くろしお支援学校 教 諭 太 田 有 紀
		県立児湯るぴなす支援学校 教 諭 小 松 鉄 平
	進 行	県立日向ひまわり支援学校 教 諭 臼 木 洋 智

【特別支援学校】高等部 保健体育科 学習指導案

日時 令和4年11月 17日(木) 第3校時
対象 高等部1年1組、2年1組、3年1組
場所 サンドーム日向
指導者 安藝 航平(T1)、白木 洋智(T2)
桂 佑太(T3)

1 単元名 球技 ゴール型「ひまわりフットボール」(サッカー)

2 単元の目標

- (1) 基礎的な知識や技能を身に付け、主体的に活動に参加しながら、簡易化されたゲームを楽しむことができる。(知識及び技能)
- (2) 自他の課題を発見し、課題解決の方法を考えたり、伝え合ったりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) きまりやルールを守り、場や用具の安全に留意しながら友達と協力して活動に取り組み、自己の力を発揮することができる。(学びに向かう力、人間性等)

3 運動の一般的特性

本単元は、「特別支援学校 学習指導要領 知的障害者教科等編 保健体育 球技」を取り上げている。球技はゴール型、ネット型、ベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。ゴール型には、空いている場所に侵入してシュートを放ち、一定時間内に相手チームより多く得点することを競い合うという特性がある。

4 生徒の実態

(1) 運動に触れる楽しさの体験状況

本校は知肢併置の小学部、中学部、高等部からなる特別支援学校であり、高等部には、14名の生徒が在籍している。保健体育の授業は、通常学級と重複障がい学級に分かれて実施している。本グループは、高等部3年生6名、2年生3名、1年生2名、計11名(男子7名、女子4名)の通常学級で構成されている。本校は約半数の生徒が地域の中学校から入学しており、運動に関する実態には多様な差がある。中には精神的に不安定な生徒や、肥満体型の生徒、適切な運動習慣の獲得が必要な生徒が在籍している。

これまでの保健体育の学習では、グループでの活動を多く取り入れてきた。学年の枠を超えてグループを編成することで、役割を意識し、生徒同士で教え合ったり、競い合ったり、お互いに称賛し合うなど、楽しんで参加できている。

(2) 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の習得状況

「知識及び技能」に関しては、昨年度、全学年においてサッカーを題材として扱っており、サッカーの基礎的な技術と基本的なルールについて学習している。生徒の実態としては、走りながらボールをコントロールすることができる生徒もいれば、ボールを蹴ろうとして空振りをしてしまう生徒もいるなど、ドリブル、パス、シュートなどの技能の習得状況についてはばらつきがある。

「思考力、判断力、表現力等」に関しては、体育の学習の中でグループ活動を取り入れ、チームの名前を決定したり、作戦や戦術を考えたりする機会を多く設定している。グルー

プ活動の中で自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりする中で、自他の課題について考える経験を少しずつ重ねている状況である。

「学びに向かう力、人間性等」に関しては、当初、教師対生徒の関わりがほとんどであったが、様々な運動を経験する中で、生徒同士声を掛け合いながら、協力して活動に取り組む姿勢が少しずつ育まれている。一方で、障がいの特性からルールの理解に時間がかかったり、失敗を恐れて自分の力を発揮する場面を避けようとしたりする生徒や、活動に夢中になり周囲の状況を確認することができない生徒もいる。その為、授業内容や活動の工夫を行いながら、生徒自らが安全に留意し、主体的に参加する意欲や態度を培っていく必要がある。

(3) 学習を進めるにあたって

本単元の実施にあたっては、本校独自に作成した学習内容系統表を活用した。これは、学習指導要領をもとに、サッカーに関する技術を、発達段階毎に並べたものである。生徒各自のタブレットを使用し、生徒がこの表を活用することで、自分に合った課題の選択や、目標設定が可能になり主体的な学びにつながると考える。また生徒が使用する表は、模範動画を挿入することで、視覚的に理解しやすいようにしていきたい。サッカーは、オリンピックやワールドカップなど、メディアにも多く取り上げられるスポーツである。今回サッカーを経験することで、競技のルールや技術、戦術に触れ、楽しさを学ぶことで、家庭でスポーツを観戦したり、インターネットや新聞等で記事に目を向けたりするなど、観るスポーツとしての余暇の充実にもなり、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質、能力を育むことにつながる。

本時の対象生徒の実態として、攻守の入れ替わりへの対応の難しさや、空間を見付ける力の弱さなどがあるため、本来のサッカーのルールで活動することは難しいと考え、本単元では、サッカーのルールを簡易化したゲーム「ひまわりフットボール」に取り組むこととした。「ひまわりフットボール」はフィールドを9つのエリアに分け、エリアの中でボールをつないでシュートをするゲームである。ルールは以下の通りである。

- ・攻撃と守備のチームに分け、時間で交代して行う。
- ・エリア間のボール移動はパスのみとする。
- ・シュートはゴール前の3エリアからのみとする。
- ・各エリアには1人のみ入ることができる。
- ・守備はエリアとエリアの間のスペースのみ移動することができる。

工夫としては、エリアに色のついたマットを設置することで、空いているスペースの指示を出しやすくした。攻撃と守備を分けることで、攻撃の意識、守備の意識を持ちやすくした。単元の前半では、守備がない状態でスタートする。その後段階的に守備者を増やし、ゲーム内容を高度化していく。攻撃者の多い数的有利な状況を設定することで、パスがつながりやすくなるようにした。また、最後にシュートを打つことができたなら加点というルールを設けることで、シュートを打つためのパス回しを考えさせ、球技の醍醐味であるシュートを打つことの喜びを感じられるようにした。空間へスムーズに移動するために、空間認知を高めるトレーニングとして、「スペースムーブ」という活動を取り入れた（指導過程参照）。

本時の指導にあたっては、前時までの取り組みや気づきをもとに「スペースムーブ」で身に付けたフェイントやチームプレーを活かして、容易に通り返られるように、空間を活用することを意識させたい。「ひまわりフットボール」では、より多く空間を活用したプレーを引き出し、得点を得られるようにしたい。その為に、タブレット端末の映像を用いて空間に気付かせたい。「チームごとでの振り返り」では、課題を確認しながら新たな

目標を考える活動を設定している。振り返りの活動を行う中で、自分の意見を伝えたり、他者の意見を取り入れたりしてチームの目標設定を行うことで、対話的な活動を通して、友達と協力しながら学習に取り組む態度を身に付けさせたい。

4 単元の評価規準（単元の評価規準：特別支援学校学習指導要領より）

単元 の 評 価 規 準	段階	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	I 段階	○ 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うこと。	○ 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。	○ 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。
II 段階	○ 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うこと。	○ 球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えること。	○ 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動すること。	

特別支援

単元 の 評 価 規 準	実態別 グループ	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	A 場面に 応じた 支援で 活動で きる	① サッカーの基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 ② 教師と一緒に空間をみつけることができる。 ③ 教師や友達と一緒に簡易化されたゲームを行うことができる。	① 自分の課題を発見し、解決のための方策を考えることができる。 ② 自分の考えたことを、他者に伝えることができる。	① きまりやルール、マナーを守りながら活動に取り組むことができる。 ② 仲間と協力し、安全に活動することができる。 ③ 進んで活動に取り組もうとしている。
B 少ない 支援で 活動で きる	① サッカーの知識や技能を身に付けることができる。 ② 空間を見つけて動いたり、パスをしたりすることができる。 ③ 簡易化されたゲームを行うことができる。	① 自他の課題を発見し、その解決のためによりよい方策を考えることができる。 ② 課題の解決に向けて考えたことを他者に伝えることができる。	① きまりやルールを守り、自己の役割を果たすことができる。 ② 仲間と協力し、場や用具の安全を確保することができる。 ③ ①②を守りながら自主的に運動することができる。	

5 単元の学習計画及び評価計画

時間	1	2、3	4	5 (10/21) 事前	6
指導 内容	知		①「基礎的な知識と技能」	①「基礎的な知識と技能」	①「基礎的な知識と技能」
	思		①「課題解決」		
	主	①「きまりやルール」	②「安全な活動」		
	0	オリエンテーション 1 集合、あいさつ 2 健康観察 ・健康チェックシート ・チーム毎に体操 ・ひなたプログラム 3 授業ルールの確認 4 グルーピング ・チーム分け ・顔合わせ 5 学習カードの記入	4 スキルアップ ・ボールタッチ ①ボールに触れる 手、足、頭 ②ボールを投げてもら い、相手に返す。 ③②の中に左右の動き を入れて。 ④ボールに触れなが ら、転がってきたボ ールを避ける動き。 5 学習カードの記入 ・できたこと、難しか ったこと ・次時の目標 あいさつ ・整理、あいさつ	1 健康観察、準備運動 及び補強運動 ・健康チェックシート ・チーム毎に体操 ・ひなたプログラム 2 集合、あいさつ ・整理、あいさつ 3 スペースムーブ ・空間認知を高める 4 スキルアップ ・ボールタッチ 5 学習カードの記入 ・次時の目標 あいさつ ・整理、あいさつ	1 健康観察、準備運動 及び補強運動 ・健康チェックシート ・チーム毎に体操 ・ひなたプログラム 2 集合、あいさつ ・整理、あいさつ 3 スペースムーブ ・空間認知を高める 4 スキルアップ ・ボールタッチ ～休憩～ (次ページ7時間目 へ)
	10				
	20				
30					
40					
50					
評価	知		映像 (タブレット)	映像 (タブレット)	映像 (タブレット)
	思		観察	観察、学習カード	観察
	主	観察	観察、学習カード	観察	観察
準備物		観察 ・ホワイトボード ・タブレット端末 ・コーン ・ビブス	・ホワイトボード ・健康チェックカード ・タブレット端末 ・コーン ・ビブス ・ボール ・学習カード	・ホワイトボード ・健康チェックカード ・タブレット端末 ・コーン ・ビブス ・ボール ・学習カード	・ホワイトボード ・健康チェックカード ・タブレット端末 ・コーン ・ビブス ・ボール ・学習カード
保健分野					
体育理論			「安全な行い方」		
自立活動		「身体の動き」			「環境の把握」

時間	7	8、9	10	11、12	13 (11/17) 当日
指導内容	②「安全な活動」	②「空間を見つける」 ①「課題解決」	③「簡易化されたゲーム」	②「空間を見つける」 ③「簡易化されたゲーム」	②「他者に伝える」 ③「自己の力の発揮」
	⑤ ひまわりフットボール ・パスつなぎ ※空間＝敵がいけない場所としての理解 ※教師の見本、ゆっくり時間をかけて	⑤ ひまわりフットボール ・パスつなぎ ※空間＝敵がいけない場所としての理解 6 学習カードの記入、ふりかえり ・チームの課題 ・次時の目標	①健康観察、準備運動及び補強運動 ・健康チェックシート ・チーム毎に体操 ・ひなたプログラム 2 集合、あいさつ ・整列、あいさつ 3 スペースムーブ ・空間認知を高める 4 スキルアップ ・ボールタッチ ～休憩～	①健康観察、準備運動及び補強運動 ・健康チェックシート ・チーム毎に体操 ・ひなたプログラム 2 集合、あいさつ ・整列、あいさつ 3 スペースムーブ ・空間認知を高める 4 ひまわりフットボール ・実践形式 5 あいさつ ・整列、あいさつ	④ ひまわりフットボール ・実践形式 5 学習カードの記入 ・チームの課題 ・次時の目標 6 あいさつ ・整列、あいさつ
学習の流れ	0				
	10				
	20				
	30				
	40				
50					
評価	知	映像 (タブレット)	映像 (タブレット)	映像 (タブレット)	観察
	思				観察
	主				観察
準備物		ボール・ゴール ・マット ・学習カード	ボール・ゴール ・マット ・学習カード	ボール・ゴール ・マット ・学習カード	ホワイトボード ・健康チェックカード ・タブレット端末 ・コーン ・ピプス ・ボール ・学習カード
		ボール・ゴール ・マット ・学習カード	ボール・ゴール ・マット ・学習カード	ボール・ゴール ・マット ・学習カード	ボール・ゴール ・マット ・学習カード
保健分野					
体育理論	「運動の多様性」	「安全な行い方」	「安全な行い方」	「安全な行い方」	「運動の多様性」
自立活動		「人間の動き」		「人間関係の形成」	「人間関係の形成」

時間	14、15	
指導内容	知	③「簡易化されたゲーム」
	思	
学習の流れ	主	③「自己の力の発揮」
	0	1 準備運動、健康観察及び補強運動 ・チーム毎に体操 ・健康チェック ・ひなたプログラム
	10	
	20	2 集合、あいさつ ・整列、あいさつ
	30	3 スペースムーブ ・空間認知を高める
	40	4 ひまわりフットボール ・リーグ戦形式
	50	～休憩～
評価	知	映像（タブレット）
	思	映像（タブレット）
	主	観察
準備物	知	・ホワイトボード ・健康チェックカード ・タブレット端末 ・コーン ・マット ・ビブス ・ボール ・学習カード
	思	
	主	
保健分野 体育理論 自立活動	知	
	思	「運動の多様性」
	主	「コミュニケーション」

6 本時の学習 (13/15)

(1) 本時の目標

A グループ・・・課題の解決に向けて、自分で考えたことを他者に伝えることができる。

B グループ・・・自分の考えたことを他者に伝えることができる。

(思考力・判断力・表現力)

A グループ・・・きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自主的に運動することができる。

B グループ・・・進んで運動に取り組もうとすることができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 本時の評価項目

A グループ・・・課題の解決に向けて、自分で考えたことを他者に伝えることができたか。

B グループ・・・自分の考えたことを他者に伝えることができたか。

(思考力・判断力・表現力)

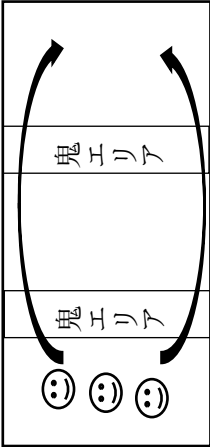
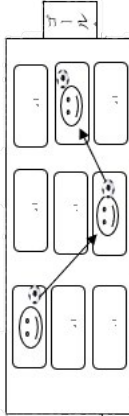
A グループ・・・きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自主的に運動することができたか。

B グループ・・・進んで運動することができたか。

(主体的に学習に取り組む態度)

7 学習指導過程

時間	学習内容及び学習活動	個別の学習活動及び指導上の留意点		資料・準備
		オレンジ	ブルー	
6分	<p>1 チーム毎に健康チェック、準備運動、補強運動をする。</p>	<p>チーム毎に集合し、健康チェック、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャプテンを中心に進めるように伝える。 ・巡回しながら、確実に準備運動ができていくか確認する。 <p>本時に取り組む運動を「ひなたプログラム」から話し合い、決定して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バランス良く取り組めるように、必要に応じて助言をする。 ・運動のポイントを意識して取り組むよう言葉かけをする。 	<p>・難しい運動の場合はT2、T3が運動の補助をしたり、アドバイスをしたりする。</p>	<p>・健康チェックカード ・タブレット端末</p>
5分	<p>1 チーム毎に整列し、挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢を正し、号令に従って挨拶をする。 ○ 簡単に、前時の学習に触れる。 	<p>チーム毎に集合し、整列する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャプテンが声かけをして、チーム毎に整列する。 <p>日直の号令に合わせて姿勢を正し、全員で始まりのあいさつをする。</p> <p>教師の話を聞いて、前時を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語先後礼を意識するよう言葉かけをする。 ・前時の学習を生徒に思い出させ、発言をさせることで、想起できるようにする。 	<p>・想起するのが難しい生徒には、タブレットの映像を見せて想起させる。</p>	<p>・ホワイトボード ・学習の流れ</p>

<p>2 本時の学習内容と目標について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボードに提示した学習の流れと、本時の目標を見ながら、確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> (1) 準備運動、補強運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ひなたプログラム (2) ウォーミングアップ <ul style="list-style-type: none"> ・通り抜けおに (3) ひまわりフットボール <ul style="list-style-type: none"> ・2試合(B-C、A-B) ・チームでふりかえり (4) おわり </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本時の流れと目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の視線が前を向いているか、確認をしながら話しを進める。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本時の目標: 自分の意見を伝える。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・T2、T3と一緒に目標を読みながら確認する。</p> </div>	
<p>4 ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スペースムーブ <p>※空間認知を高めるトレーニング</p>	<p>ウォーミングアップとして、スペースムーブを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼になっているチームに、エリアに入るように声かけをする。 ・確実に鬼がいらないエリアを見て、通るように声かけをする。 ・鬼のいる場所がどこか考えられるように言葉かけを行う。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーン ・マーカー
<p>5 ミニゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひまわりフットボール」を行う。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「ひまわりフットボール」を行う。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までと同じルールで行うことを確認する。 ・試合の順番を伝える。(ブルー対グリーン、グリーン対オレンジの順番) ・試合を待っている間は、試合をしているチームの応援、サポートを行うよう伝える。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール ・マット ・ゴール ・タブレット端末

		<p>ゲーム1を行う(ブルー対グリーン)。オレンジは試合を観戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームの目標を試合前に再度確認させる。 ・怪我のないように、気を付けながら行うように伝える。 <p>ゲーム2を行う(グリーン対オレンジ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T2、T3はブルーチームのところへ行き、必要に応じて助言を行う。
11分	<p>6 ゲームのふりかえりを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームごとに分かれて、ふりかえりを行う。 	<p>各チームで、タブレット端末の映像を使いながら、ゲームの振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T2、T3は巡回しながら、発言を促すよう、助言する。 ・スペースを見つけたり、作りだしたりするような発言ができた際は称賛する。 ・T2T3は、空間を上手に使えた場面では動画をとめて、生徒の気づきを促す言葉かけを行う。 <p>各チームで、反省をもとに次時の目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことや、考えたことを発言するよう促す。 ・各チームの次時の目標を確認し、意識できるよう声かけをする。 ・簡単な内容でも良いので、全員が発言できるよう促す。 ・T2、T3は巡回しながら、必要に応じて助言を行う。
1分	7 終わりのあいさつをする。	<p>次時の予告を行い、終わりのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時はリーグ戦形式で行うことを伝える。 ・語先後礼を意識するよう言葉かけをする。

8 本単元に関する生徒の実態及び本時の目標

【評価基準】◎・・・よくできた ○・・・できた △・・・もう少し

	氏名 性別	単元に関する生徒の 実態	本時の目標	評価項目	評価
オ レ ン ジ チ ー ム	A (女)	運動が得意ではないが、積極的である。語彙量が少なく、相手に上手に意思を伝えることが難しい。	自分の意思を、言葉で表現して伝えることができる。 (思・判・表A②)	考えたことを言葉に表現して伝えることができたか。 (思・判・表A②)	
			きまりやルールを守りながら、自主的に運動しようとしている。 (主体的態度A②)	きまりやルールを守りながら、自主的に運動することができたか。 (主体的態度A②)	
	B (女)	運動が好きで、積極的である。意思を言葉にして伝えることができるが、不安なことがあると欠席することも多い。	考えたことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (思・判・表B②)	考えたことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができたか。 (思・判・表B②)	
			きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができる。 (主体的態度B②)	きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができたか。 (主体的態度B②)	
	C (男)	運動が好きで積極的に参加できる。意思があるが、それを言葉で正しく表現することが苦手である。	考えたことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (思・判・表B②)	考えたことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができたか。 (思・判・表B②)	
			きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができる。 (主体的態度B②)	きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができたか。 (主体的態度B②)	
	D (男)	運動は好きだが、言葉数が少なく、自分の意思を言葉にして伝えるのが苦手で、時間を要する。	自分の意思を、言葉で表現して伝えることができる。 (思・判・表B②)	考えたことを言葉に表現して伝えることができたか。 (思・判・表B②)	
			きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができる。 (主体的態度B②)	きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができたか。 (主体的態度B②)	
ブ ル ー チ ー ム	E (男)	運動が好きで積極的だが、語彙量が少なく、意思を伝えるのが苦手である。相手の話しをオウム返しで話すことが多い。	考えたことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (思・判・表A②)	考えたことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができたか。 (思・判・表A②)	
			きまりやルールを守りながら、自主的に運動しよう	きまりやルールを守りながら、自主的に運動	

			としている。 (主体的態度 A②)	できたか。 (主体的態度 A②)	
	F (女)	運動が好きで意欲的に身体を動かすことができる。意見を伝えるのが苦手で、小声になり伝わりにくいことがある。	自分の意思を、他者に伝えるように、仲間に伝えることができる。 (思・判・表 B②)	きちんと他者に伝わるように、意思を伝えられたか。 (思・判・表 B②)	
			きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができる。 (主体的態度 B②)	きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができたか。 (主体的態度 B②)	
	G (男)	運動が好きで積極的だが、肥満体型で、上手くこなせないことも多い。自分の意思を伝えることができる。	自分の意思を、言葉で表現して伝えることができる。 (思・判・表 B②)	考えたことを言葉に表現して伝えることができたか。 (思・判・表 B②)	
			きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができる。 (主体的態度 B②)	きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができたか。 (主体的態度 B②)	
グリーンチーム	H (男)	自己刺激として身体を動かすことが好きだが、目的を持って身体を動かすことが難しい。自分の意見を考えるのが難しく、教師と一緒に活動することが多い。	自分の意思を、正しく仲間に伝えることができる。 (思・判・表 A②)	自分の意思を、正しい表現で伝えることができたか。 (思・判・表 A②)	
			きまりやルールを守りながら、自主的に運動している。 (主体的態度 A②)	きまりやルールを守りながら、自主的に運動できたか。 (主体的態度 A②)	
	I (男)	運動は好きではないが、様々な運動を上手にこなすことができる。意思を言葉にして伝えることも得意である。	考えたことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (思・判・表 B②)	考えたことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができたか。 (思・判・表 B②)	
			きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができる。 (主体的態度 B②)	きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができたか。 (主体的態度 B②)	
	J (男)	運動が得意ではないが、積極的に参加できる。意思を言葉にして伝えようという意欲はあるが、上手く表現できないことが多い。	自分の意思を、正しく仲間に伝えることができる。 (思・判・表 B②)	自分の意思を、正しい表現で伝えることができたか。 (思・判・表 B②)	
			きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができる。 (主体的態度 B②)	きまりやルールを守り、仲間と協力しながら自己の力を発揮することができたか。 (主体的態度 B②)	

			(主体的態度 B②)	(主体的態度 B②)	
K (女)	運動が好きで積極的 である。自分の意思 と違う状況になった 際に、癩癩を起こす ことがある。意思を 伝えることができる。	自分の意思を、言葉で表現 して伝えることができる。 (思・判・表 B②)	考えたことを言葉に表 現して伝えることがで きたか。 (思・判・表 B②)		
		きまりやルールを守り、仲 間と協力しながら自己の 力を発揮することができる。 (主体的態度 B②)	きまりやルールを守 り、仲間と協力しなが ら自己の力を発揮する ことができたか。 (主体的態度 B②)		